

奈良西

ロータリークラブ

便り

2

奈良西ロータリークラブ会長

杉村 仁さん(59)

イタリヤのミラノで宿

泊できなかったことがあ
る。行き当たりばったり
の旅ではなく、1年も前
から企画された文部省
(当時)派遣でのことだ。
原因は、ファッショ
ンのミラノコレクション。
世界中から人が集まり、
数年前からの予約が必要
とのこと。文化が人を集
め、街が栄えている実例

である。

奈良なら正倉院展だろ
うか。だが、世界中のエ
グゼクティブに知られて
いるかと言えば、少々心
細い。そこで夢のようだ
が、「ルーブル美術館で
正倉院展を」と言いたい。
世界中の注目が奈良に集
まるであらう。

ルーブル正倉院展が無
理なら、せめて復刻品や

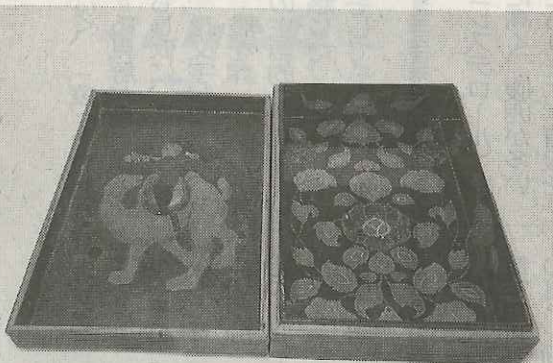
ルーブル美術館で正倉院展を

現代作家の品で、正倉院
の存在を世界に知らしめ
たい。フランス・パリの
ギャラリーテンデンスで
は、11月25日〜12月4日
の間、杉村聡彦作品展が
ある。活躍が期待される。
ここで、県民の参加を
求める公募展を二つ紹介
しよう。公募展とは、広
く作品を募り、入選作品
で構成するコンクール展
のことだ。

一つは「第65回奈良県
美術展」。作品募集は今
月24〜26日で、会期は11
月1日から同7日までと
なっている。

私が審査を担当する彫
刻には、新しい発想や従
来にはない素材、例えば
紙や段ボール、布を使用
した作品や、動く作品な
どをぜひ出品していただ

杉村聡彦さんの作品「正倉院文様駱駝
宝相華古材硯箱」



きたい。今までにないも
のが並ぶことで、それぞ
れの良さが発揮できると
考えるからである。

横二作品展「水と生命
に」を開催。水と生命
がテーマの立体作品が、
画廊とマッチした楽しい
展示である。

県展は少し敷居が高そ
うと思われる方には「勤
労者美術展」をお薦めす
る。県展閉会後の受け付
けで、どんな方でも応募
できる。

前回にも触れたが、ま
ず作品を前に感じるこ
とが大切。そして、あなた
も作ってみてはどうだ
ろう。

世界中の注目、奈良に

グループ展と個展も紹
介しておこう。NARA

Ⅱ 毎月第3月曜日掲載